



【令和3年度衛生科幹部等集合訓練】 (第65回北部防衛衛生学会)

令和4年1月26日

令和4年1月26日(水)自衛隊札幌病院(病院長:鈴木陸将)は、北海道青少年会館コンパスにおいて、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、開催規模を縮小し参加者を限定したうえで、令和3年度衛生科幹部等集合訓練(前段、第65回北部防衛衛生学会)を担当・実施した。

担任官(鈴木陸将)は、訓練のテーマを『Team Building～目標必達のために～』とし、訓練開始に当たり、『任務を遂行する上で、各人の能力を結集し、組織としての力をいかに発揮し事態対処、災害派遣、国際平和協力活動等において組織目標を達成するために「Team Building」のあり方や進め方を学ぶ機会としてもらいたい。』と挨拶した。

北部方面総監(沖邑陸将)は総監講話において、伊豆大島で発生した台風26号に伴う行方不明者の捜索活動に係わる災害派遣(平成25年東部方面総監部幕僚副長当時)における現地活動の紹介、地域等との連携及び留意事項、自治体との協定締結などの重要性等について総監ご自身の体験談を交えて講話をされた。

特別講演において株式会社レバンガ北海道代表取締役社長の折茂武彦氏を講師としてお招きし『北海道の為に選手として・経営者として』と題し、チームビルディングのあり方や『勝つための8法則』、『組織力(チーム力)』など講演いただき、各人が同じ目標を達成するために最善を導き出す状況判断の重要性は、病院でのチーム医療と重なるところがあり大変感銘を受ける講演であった。午後の指定演題では『新型コロナウイルス感染症対応について』座長:蝶野1佐(前任診療科部長)、演者:長川1佐(診療技術部長)、本間2佐(医療安全評価官)、奥西2佐(北部方面総監部医務保健班長)の3名が発表し、一般演題では第1演題において座長:光川3佐(第7後方支援連隊衛生隊長)、演者:後藤3尉(第11後方支援隊衛生隊)と第2演題は座長:村田3佐(第11後方支援隊衛生隊長)演者:小川3曹(北部方面衛生隊)が日頃の衛生能力向上に対する取り組みについて発表した。

最後のパネルディスカッションでは『自衛隊におけるチーム医療を考える』をテーマとし、座長:小原将補(副院長)、札幌医科大学医学部救急医学講座教授・高度救命救急センター長の成松英智先生、水口1佐(自衛隊中央病院)、光川3佐、古田1尉(副医療安全評価官)4名のパネリストによる平時、有事、災害時等における部隊、病院内、各自衛隊間、自衛隊と部外機関などにおける組織・個人の連携がいかにあるべきかなどの発表と議論が行われた。感染対策を万全にして訓練を実施し、その目的である『識能の向上を図り防衛衛生の強化、充実発展に寄与する。』を達成した。



開会挨拶(担任官 鈴木陸将)



総監講話(沖邑陸将)



特別講演レバンガ北海道代表取締役社長 折茂武彦 講師



指定演題発表・質疑



パネルディスカッション



パネルディスカッション質疑応答(札幌医科大学成松教授)